

Phase 2 デジタル戦略方針

戦略方針

施策概要

1 建設DXの 更なる推進

BIMを用いたワークフロー改革

- ・ 現場情報のデジタル化推進と有効活用するための環境整備により、業務プロセスを変革します。
- ・ BIMによる一元的な情報管理により、関わる部門間の効果的なコラボレーションを実現し、業務効率と生産性を高めます。

DXによる施工現場の生産性向上

- ・ IoTやデジタルツインなどを利用し、施工現場のリアルタイムな工程管理や現場マネジメント業務の効率化を図ります。
- ・ AIやICTツールなどのデジタル技術を活用して、施工現場の更なる生産性向上により、施工現場の省人化を図ります。

ICT高度活用に向けた研究開発

デジタル技術の活用による施工効率化技術の開発を推進し、現場力強化に貢献します。

DXによる カーボンニュートラルへの貢献

カーボンニュートラルに向けて、ビルのDX化に対応するためAIを活用したデータドリブンなシステムを開発します。

2 事業強靱化に向けた デジタル基盤の 整備・運用

DXによる業務プロセスの変革

RPAやローコードツールなどのDXツールを用いることで、業務の効率化および業務課題の解決を図り、時間外労働の削減ならびに従業員が働きやすい環境を実現します。

生成AI活用による業務高度化

生成AIを用いたナレッジマネジメントシステムを構築するなど、生成AIを積極的に業務に取り入れていくことで、業務の高度化・効率化を推進します。

DXによる営業活動改革

SFA/CRMやデータアナリティクスツールなどの活用により、データに基づいたより効率的な営業活動を実現します。

3 デジタル ガバナンスシステムの 強化

サイバーリスク対策の強化

サイバーリスクに向けた対策を適宜実施するとともに、サプライチェーンを見据えたセキュリティ強化に取り組んでいきます。

デジタル人材の育成

社員のデジタルスキルの底上げおよびデジタル人材の育成と社内体制の整備を推進し、次世代を担う社員がDX推進を能動的に行う環境を構築します。

継続的な情報発信

当社のDXへの取り組みを社内外のステークホルダーにご理解いただけるよう、デジタル施策実行状況を適切に開示します。

デジタル戦略方針(Phase 2)ロードマップ

2024 年度

2025 年度

2026 年度

1 建設DXの更なる推進

① BIMを用いたワークフロー改革

クラウドによるデータ一元化、新ワークフローの検討

新ワークフローの試行

新ワークフローの本運用

② DXによる施工現場の生産性向上

施工現場のデジタル化推進、ICT化モデル現場の構築・試行・運用

③ ICT高度活用に向けた研究開発

3D化技術など施工支援ツールの現場活用・検証および普及

④ DXによるカーボンニュートラルへの貢献

スマートビル向けデータ連携モジュールやシステム等の開発

2 事業強靱化に向けたデジタル基盤の整備・運用

⑤ DXによる業務プロセスの変革

ローコードツールなどのDXツールの導入

DXツールの運用、定着化

⑥ 生成AI活用による業務高度化

生成AIの業務活用推進、生成AIのユースケース拡大

⑦ DXによる営業活動改革

新営業支援システムの構築・運用、営業データの分析・活用

3 デジタルガバナンスシステムの強化

⑧ サイバーリスク対策の強化

情報セキュリティ教育の拡充、サイバーリスク対策の継続実施

⑨ デジタル人材の育成

社員のデジタルスキル底上げ、社内体制の整備、人材育成

次世代を担うデジタル人材の育成

⑩ 継続的な情報発信

社内外のステークホルダーに、デジタル施策の実行状況を適切に開示